

クリスマス 2014

信仰は、わたしにとって、イエスとの出会いによって生じたものです。わたしの心を打ち、わたしの人生に意味を与えて方向づけた個人的な出会いです。外からのもの、強いられたものではなく、内側からわき出て雅かなものになるのです。イエスは実際に、心を打ち、驚かせ、新しくします。

フランシスコ

わたしたちの命に対するイニシアティブをとるのは「他者」であるから、「他者」がわたしたちの人生を救い、真実の認識に導き、現実に従うように導き、真実に親しむように導き、真実を愛するように導くのである。この告知を可能性として受け入れるなら、安らかさが戻り、すべてがより単純になる。そして、パンには「パン」、ワインには「ワイン」、いのちには「いのち」、死には「死」、友人には「友人」と言え、より満足し、すべてはさらに驚きの源となる。人がこのように生きようとすればするほど、不均衡であることに気づき、謙遜に歩むようになる、なぜなら、介入するこの「他者」は瞬間ごとにわたしをつかまえ、再びつかまえ、再びわたしを人生に投げ入れ、彼が始めた業を完成するからである。すなわち、わたしたちを運命へと導くのである。

ルイジ・ジュッサーニ



ヘリト・ファン・ホントホルスト、1619-1620、羊飼いの礼拝（部分）、1995年5月27日の
爆破事件によって大きな損傷を受ける以前の作品。

ウフィツィ美術館、フィレンツェ。© Foto Scala Firenze

コムニオーネ・エ・リベラツィオーネ